

平成22年度 宮崎県立福島高等学校 学校関係者評価書

教育目標	「憲法」、「教育基本法」、「宮崎県教育基本方針」及び「宮崎県人権教育基本方針」にのっとり、「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」を培う。また、「勤勉・忍耐・明朗」の校訓のもと、郷土、国家社会の形成者として二十一世紀の国際社会に貢献できる人間の育成をめざす。			
学校経営プラン	自己実現へのひたむきな努力のできる生徒を育成するため、学校における生徒の自己存在感を高めると共に、学力・体力の向上と人権・規範意識の醸成を図る。さらに、地域唯一の高等学校として地域に信頼される学校づくりを行う。			
重点目標	達成手段	具体的実践・成果	評価	次年度への課題
1 学力の向上	(1) 45分授業、けやきタイムの充実(授業研究、個別面談・指導を重視して)	◎取組と成果 校内各種研修会等を含めて全職員が授業を公開し、授業やけやきタイムの研究を行っている。年2回実施の生徒による授業評価や個別面談・個別指導も授業改善に効果的である。昨年度1年目にして効果が出つつある「けやきタイム」は、今年度は2年生に「基礎定着講座」を増やす等、内容充実を図った。	4・3・2・1 評価の高い方が4 低い方が1 になります 3.4	○多岐の進路希望と大きな学力差に対応できるよう更なる工夫改善を行う。 ○「45分授業→けやきタイム」の検証をし、充実深化を図る。
	3.6 (2) 進路実現のための基礎学力の定着(「学び直し」から、各種試験で通用する学力の向上を目指して)	◎取組と成果 全生徒については、毎日の宅習記録を介して学習指導を行っている。新入生については、入学前の課題点検、入学当初のつなぎ教材の集中的な活用により、これまで以上に「学び直し」に力を入れて取り組んだ。	4・3・2・1 3.8	○つなぎ教材「エクセレント数学・英語」の効果的な活用について研究し実践する。
2 道徳教育の充実	(1) スクールマナーの確立【あいそじっこふ】の実践(挨拶・清掃の励行、時間“時間厳守・提出物の期限厳守”を大切に、場に応じた言葉遣い、服装容儀の徹底)	◎取組と成果 ①「挨拶」の良さは、地域でも高く評価されている。PTAによる挨拶運動や部活動生に負うところも大きい。今年度は、その良さを一部地域に還元できている。(進路内定生徒が、福島小前等で早朝挨拶運動を行った。) ② 年度当初、全職員で登校時間指導を行い、ぎりぎり登校が改善された。 ③「服装容儀」指導は、保護者にも協力をお願いしながら行っている。一部の生徒ではあるが、その改善指導に絶えず目配り、声かけ等を行っている。	4・3・2・1 3.6	○地域・中学校等との徳育面での具体的な連携、取り組みを検討し実践する。 ○「当たり前のことを当たり前」、「してはいけないことはさせない」ことを、特に年度始めに学校全体で組織的に行う。また、全職員が同じ姿勢で指導する。
	3.6 (2) 他者への配慮(三かけ“気かけ・目をかけ・声をかけ”運動の推進及びボランティア活動への積極的参加を推奨する)	◎取組と成果 ① 本年度から毎月「教育相談便り」を発行し、人権・心の教育を進めている。 ② インターアクト部のリーダーシップのもとに、多くの生徒がボランティア活動に積極的に取り組んでいる。その分、地域からの要請、期待も大きい。	4・3・2・1 3.6	

3 自己存在感の高揚	(1) 生徒たちが居場所を持ち、主体的に動く場の提供とそのため仕掛け(生徒を内面から変えることを通して)	◎取組と成果 ① 「学校生活についてのアンケート」では、充実度等は徐々に良くなってきているが、全生徒の満足度100%をめざし、声かけ働きかけを行っている。 ② 「教育相談調査」は、個別生徒の対応用として有効に活用している。 ③ 問題行動等がある生徒に対しては、保護者との緊密な連携を図り、社会・学校生活への適応を目指して、全職員でねばり強く取り組んでいる。 ④ 部活動は、そのサポートシステム等も含めて活発であり成果も出ている	4・3・2・1 3.6	○キャリア教育の充実により、更なる人間的な成長を指導支援する。 ○全生徒の特別活動や部活動等への積極的な参加を促す。 ○地域の教育力の活用、地域への貢献という視点での取り組みを推進する。 ○3年生の進路内定者に対して、次につながる具体的な指導を行う。
	3.7 (2) キャリア教育の推進(よりよき職業人・社会人育成のための取り組みを通して)	◎取組と成果 「普通科高校におけるキャリア教育推進校」に指定され、その自覚のもとに計画実施している。全生徒が対象としての取り組みは実にタイムリーである。	4・3・2・1 3.8	
4 信頼される学校づくり	(1) 小・中学校・地域との連携推進(串間市小中高一貫教育の効果的な活用・実践、頼れる福島高校に向けての体制の定着を通して)	◎取組と成果 本校の喫緊の課題を「本校の実績等の広報周知」と「信頼される、輝く福高生」とし、「23.6(平成23年度入試で市内6割入学)」を目標に取り組んだ。小中高一貫教育やキャリア教育の推進で小中学校、地域等との連携の深化を実感できている。特に、全職員が、それぞれに担当として割り振られた中学校と、緊密な連携と具体的な取り組みができてきた。	4・3・2・1 3.6	○市内中3年生7割入学を目指し、本校の企業努力は当然、地域との実質的な連携、地域からの支援という観点からも取り組む。 ○学力面、生徒指導面での実質的な連携を小中学校と具体的に進める。 ○本校の教育活動、実績等を串間市民に十分広報周知する。 ○今年度の反省のもと、空調設置を実現する。
	3.5 (2) 学校評価の推進(学校の良さの発信、校内の学校評価システムの確立を通して)	◎取組と成果 HP、学校便り、高校情報、新聞等が質量ともに向上した。その分外部からの本校への要望・ニーズ等も多く寄せられ改善に生かしている。	4・3・2・1 3.6	
	(3) 環境美化の推進と学習環境の向上(美化意識の向上と校内施設の効果的活用を通して)	◎取組と成果 PTAによる学習環境向上のための空調設置が本年度実現できなかった。	4・3・2・1 3.2	

意見内容

○学校として可能性のあるものは、全てチャレンジし、実行したという印象を受けた。地域等の評価が高い。○生徒が明るく自信を持っている。○他校に比べ挨拶がよい。○小中高一貫教育は、小中の先生の関心度が低い。

次年度に向けた改善点

○業務のスリム化やシンプル化を図って欲しい。○今の取組を継続して欲しい。○部活動の選択肢増等で内外にアピールして欲しい。○良くなっている福高を保護者等にもっと知って欲しい。○服装容儀の指導の強化。

